

ニハマ写真部 まち歩き撮影会



スタート & ゴール

かつては雑貨屋、呉服屋、料理屋、旅館などが建ち並ぶ繁華街。開閉式テントのアーケードがあった。

レトロな看板や建物を撮影しながら商店街を歩く。昭和通り四丁目の街路灯の柱は檜でできている。一般的に見られる街路灯の柱より太めに作られていて、その柱を利用してストリート写真展など、アート展示ができるような仕様になっているのが特徴。

現在の口屋跡記念公民館が新居浜市立図書館だった頃、前庭には小動物園がありました。昭和38年の夏、管理人さんの隙を見て、小動物園のクマが脱走し、本町通りの散歩をしたことがあったそうです。

舫っている漁船や漁師小屋、お揃いの小さな黄色の大漁旗、工業地帯を撮影しながら移動。

最近あまり見かけなくなったレトロなポスト。

2018年12月8日(土) 10:00~12:30 昭和通り周辺

1 口屋あかがねの松



約300年の時を経て、当時のまま今も同じ場所に残る松。元禄15年(1702)に別子銅山用の生活物資や銅鉱輸送の物流拠点として「口屋新居浜分店」がこの場所に開かれた。この松の木が近代化産業遺産として認定されている。

3 大江浜ふれあい広場



公園の片隅にある神々が大集合しているところ。大江恵美須神社の屋根瓦のエビスさんと鯛の表情が愛らしい。公園内のトイレもユニークなデザイン。新居浜太鼓祭りでは大江浜かきくらべ会場として賑わう。

5 マナベ小児科



昭和6年(1931)に藝備銀行新居浜支店(今の広島銀行)として建てられたものが、現在は小児科として活用されている。アール・デコ様式を基調とした洋館。

7 児島呉服店



(現在は営業しておりません) 昔の本町の面影を色濃く残す建物。レトロで洒落た看板が残っている。銅板製の樋も珍しい。

9 銀泉街のカラー舗装



昭和32年(1957)に完成したモデル商店街。放射状に整備された道路が特徴的。カラー舗装された道路にあるクマ、パンダ、ゾウ、リス、アヒルなどのイラストがユニーク。

2 口屋カナル



埋め立ての際に作られた運河。運河越しに石鎚山が見えるビュースポットで、特に満潮時の夕日の時間帯がおすすめ。新居浜太鼓祭りでは船御幸が行われている場所。

4 米の藤松屋



(現在は営業しておりません) 古民家カフェを連想させる佇まい。あまり見かけなくなったレトロな看板も見どころ。

6 垂水さん宅前の小女郎像



約90年前から同じ場所にある。伝説の「小女郎狸」が変身したという姫の石像。姫の足元からちよびりのぞいた片足は、狸の足のように見える。またその後ろには狸のしっぽのようなものが見える。この場所は、当時「垂水味好堂」という菓子屋さんがあった場所で、看板商品に「小女郎飴」があり、その店先に小女郎像があった。

8 加藤通船



海岸通り沿いにあるひととき目をひく可愛いピンクの灯台。御代島の西にある船上さん(船上岩)にあった灯台を譲り受けピンクに塗り替えた。